

# 【特別支援教育】授業改善のための「セルフチェックシート」

月	日 ( )	学級	指導者
教科		単元名	

4：十分できた 3：概ねできた 2：あまりできなかった 1：できなかった

授業前	<b>指導者は、本時（本単元）を通して資質・能力が身に付いた児童生徒の姿をイメージしましたか？</b>		4・3・2・1
	<改善のヒント> ・本時（本単元）で目指す児童生徒の具体的な姿を、目標に基づいて想定する。 ・児童生徒一人一人の実態に応じた教材・教具を準備する。 ・児童生徒に資質・能力が身に付いたか評価する手立てを準備する。		
本時で行った過程に☑を入れて授業を振り返りましょう	<input type="checkbox"/> 見いだす	<b>児童生徒が自ら問いを見いだしたり、解決していく課題を明確にしたりしていましたか？</b>	4・3・2・1
	<手立てのヒント> ・児童生徒が自ら疑問をもち、問いを見いだすことができるような教材や発問を工夫する。 ・児童生徒にとって、興味や必要感のある課題を準備する。 ・本時の学習の手助けとなる既習事項を確認する。		
	<input type="checkbox"/> 自分で取り組む	<b>児童生徒が自分の考えを形成したり、思いや考えを基に創造したりすることができましたか？</b>	4・3・2・1
	<手立てのヒント> ・課題を解決する見通しがもてるように、授業の流れや手順表等を使って確認する。 ・児童生徒が自分なりの考えをもてるように、見本を示したり、ICT環境や絵や図等の資料を用意したりする。 ・授業の組立（静と動、ユニット）や学習形態（個別、ペア、グループ、課題別等）を工夫する。 ・一人一人が思いや考えを基に取り組むことができるように、ヒントカードや選択肢を用意したり、具体物やワークシートを活用したりする。		
	<input type="checkbox"/> 広げ深める	<b>児童生徒が多様な考えを理解したり、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、新たな考えに気付いたりしましたか？</b>	4・3・2・1
<手立てのヒント> ・「対話的な学び」が実現できるよう、お互いの話を聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりする時間や場を設定する。 ・「深い学び」が実現できるよう、学んだことを実際にやってみる機会を設ける。 ・教師が仲立ちとなり、児童生徒同士の話をつなげ、広げるようにする。			
<input type="checkbox"/> まとめあげる	<b>児童生徒が学んだことを確実に身に付けるとともに、新たな疑問をもちましたか？</b>	4・3・2・1	
<手立てのヒント> ・学習活動を振り返るために、自分の言葉で書いたり、項目にチェックしたりできるワークシート等を活用する。 ・具体的な学習場面が想起できる教材等を用意して振り返り活動を行う。 ・学んだことを今後の学習や生活に生かす場面について話すようにする。 ・学習活動を次につなげて「主体的な学び」が実現できるよう、意欲や関心をもてるような発問をする。			

(授業改善メモ)

